

構想策定の趣旨

急速な高齢化の進展による医療需要・介護需要の大きな変化が見込まれる中、医療や介護を必要とする県民が、できる限り住み慣れた地域で必要なサービスを受けられる体制を確保することが求められる

限られた医療資源を効率的に活用できる医療提供体制の「将来像」を明らかにすることが必要

地域医療構想の策定

構想の性格

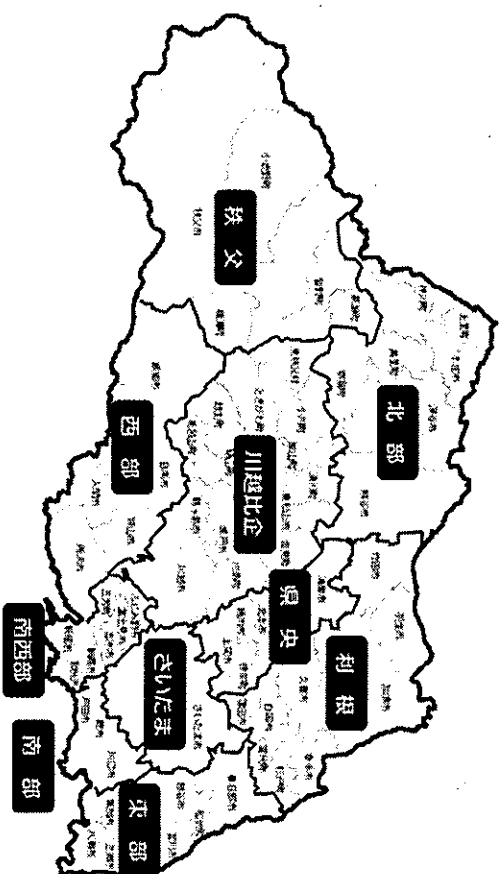
- 医療法により都道府県に策定が義務付けられている医療計画に定める事項として規定
- 平成37年(2025年)の医療提供体制に関する構想
- 第6次の地域保健医療計画の一部として策定

策定の経緯等

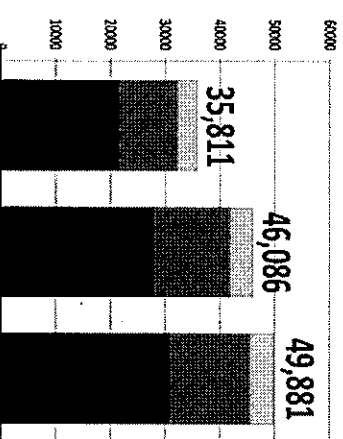
- 医療計画等推進協議会(2回)
- 医療審議会(4回)
- 地域医療構想検討会(3回)
- 地域保健医療協議会(各区域)
- 6月定例会(行政報告)
- 9月定例会(構想案の県議会への提案)
- 策定
- 地域医療構想調整会議における構想実現に向けた検討
- 第7次地域保健医療計画の施策への反映

区域の設定

「構想区域」は埼玉県地域保健医療計画に定める「二次保健医療圏」と同様とする。



入院患者の医療需要推計



平成37年(2025年における)医療需要

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	50,023	54,210	▲4,187
高度急性期	6,389	5,528	861
急性期	24,674	17,954	6,720
回復期	4,023	16,717	▲12,694
慢性期	12,552	14,011	▲1,459
無回答	2,385	—	—

在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
(人/日)	46,152	82,372

医療提供体制の整備の方向性

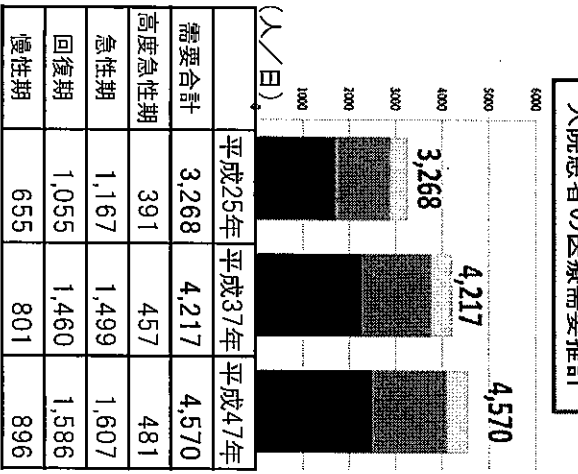
- 医療機能の分化・連携を進め、高度急性期から回復期、在宅医療等まで切れ目のない医療供給体制を整備します。
- 医師の診療科偏在や地域偏在の解消に取り組み、住み慣れた地域で必要な医療を受けられる体制作りを進めます。
- 地域包括ケアシステムの構築に併せ、在宅医療連携拠点等の機能強化や、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士等の確保・養成等、在宅医療体制の整備を進めます。
- ICTを活用した医療・介護連携システムの構築を進めます。

地域医療構想の推進体制

- 地域医療構想調整会議の設置
将来の必要病床数を達成するための方策やその他の地域医療構想の達成を推進するために必要な事項について協議を行う場として、区域ごとに「地域医療構想調整会議」を設置します。
- 病床機能報告制度の活用
毎年度実施される病床機能報告の結果を活用して、各区域における病床の機能区分ごとの将来の必要病床数との比較を行い、地域の課題を分析することにより病床の機能の分化・連携を推進します。
- 埼玉県地域医療介護総合確保基金の活用
地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備において、財政的支援が必要な事業については、埼玉県地域医療介護総合確保基金を活用して必要な経費を支援します。

南部

入院患者の医療需要推計

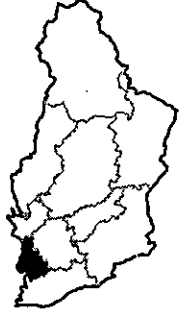


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

年度	必要病床数	病床機能報告による病床数	差引
平成27年度	4,120	4,120	▲905
平成37年	5,025	1,623	▲1,321
平成47年	5,025	871	▲148

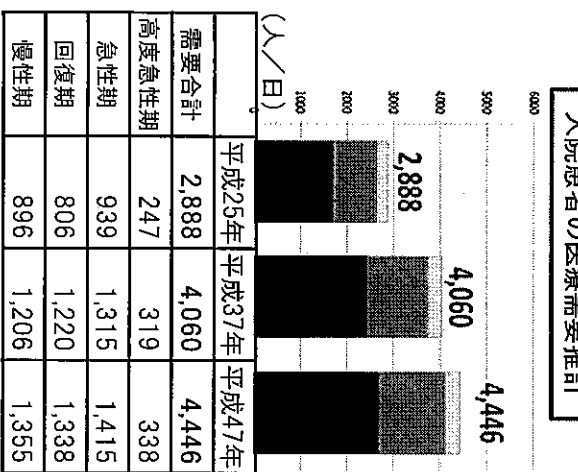
在宅医療等の
必要量の推計

年度	必要量の推計
平成25年	6,225
平成37年	10,740



南西部

入院患者の医療需要推計

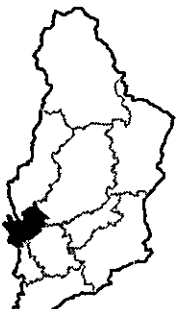


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

年度	必要病床数	病床機能報告による病床数	差引
平成27年度	3,734	3,734	▲1,043
平成37年	4,777	1,356	▲1,188
平成47年	4,777	1,311	▲332

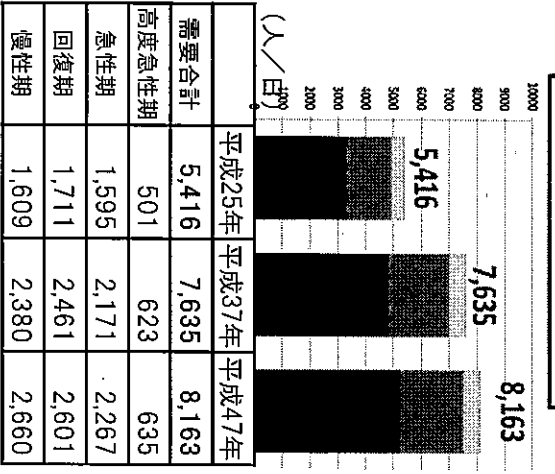
在宅医療等の
必要量の推計

年度	必要量の推計
平成25年	3,647
平成37年	7,039



東部

入院患者の医療需要推計

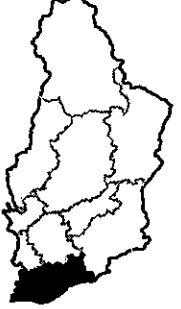


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

年度	必要病床数	病床機能報告による病床数	差引
平成27年度	7,133	7,133	▲1,802
平成37年	8,935	2,734	▲1,833
平成47年	8,935	2,587	▲861

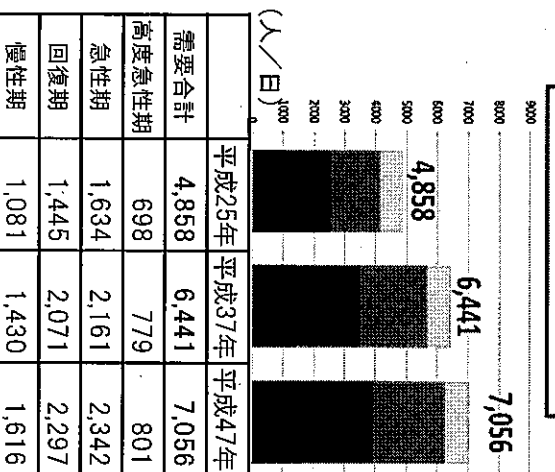
在宅医療等の
必要量の推計

年度	必要量の推計
平成25年	6,171
平成37年	12,101



さいたま

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

年度	必要病床数	病床機能報告による病床数	差引
平成27年度	6,879	6,879	▲785
平成37年	7,664	2,301	▲1,939
平成47年	7,664	1,554	▲61

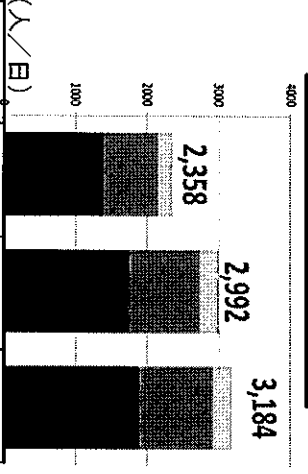
在宅医療等の
必要量の推計

年度	必要量の推計
平成25年	10,814
平成37年	18,785



県央

入院患者の医療需要推計

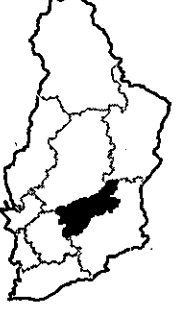


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

年度	必要病床数	病床機能報告による病床数	差引
平成27年度	3,221	3,221	▲313
平成37年	3,534	1,120	▲888
平成47年	3,534	797	80

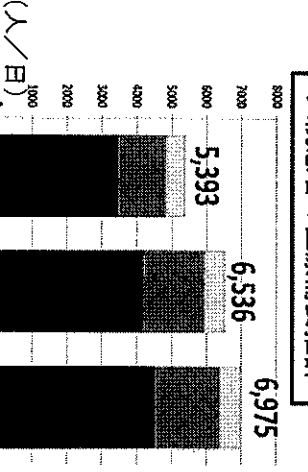
在宅医療等の
必要量の推計

年度	必要量の推計
平成25年	2,628
平成37年	4,874



川越比企

入院患者の医療需要推計

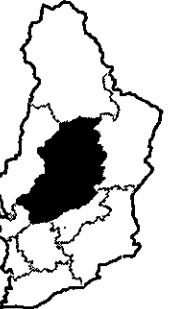


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

年度	必要病床数	病床機能報告による病床数	差引
平成27年度	6,816	6,816	▲836
平成37年	7,652	2,518	▲1,815
平成47年	7,652	2,072	▲288

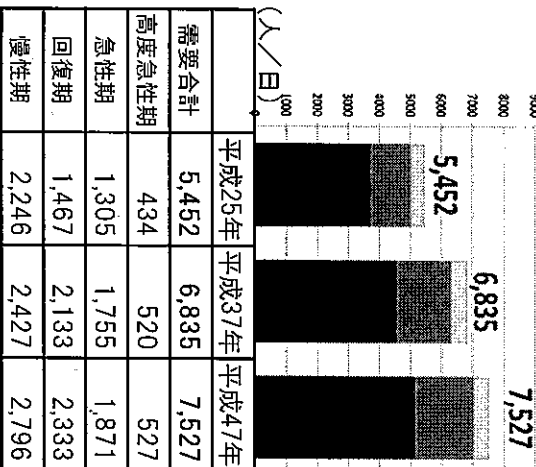
在宅医療等の
必要量の推計

年度	必要量の推計
平成25年	4,816
平成37年	8,799



西部

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

項目	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	6,921	7,951	▲1,030
高度急性期	780	694	86
急性期	2,961	2,249	712
回復期	663	2,370	▲1,707
慢性期	2,517	2,638	▲121
無回答	429	—	—

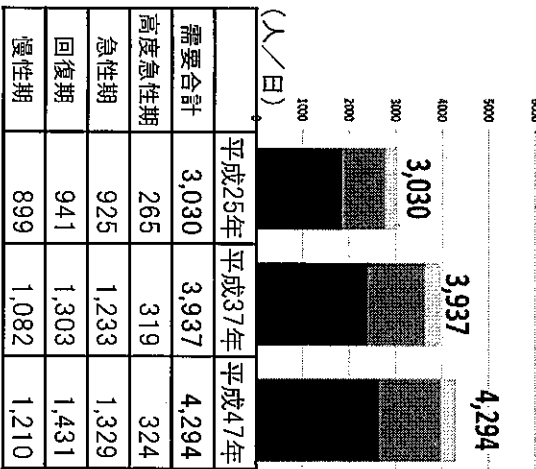
在宅医療等の
必要量の推計

年次	推計値 (人/日)
平成25年	4,350
平成37年	8,938



利根

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

項目	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	4,220	4,630	▲410
高度急性期	38	426	▲388
急性期	2,707	1,580	1,127
回復期	383	1,448	▲1,065
慢性期	1,092	1,176	▲84
無回答	203	—	—

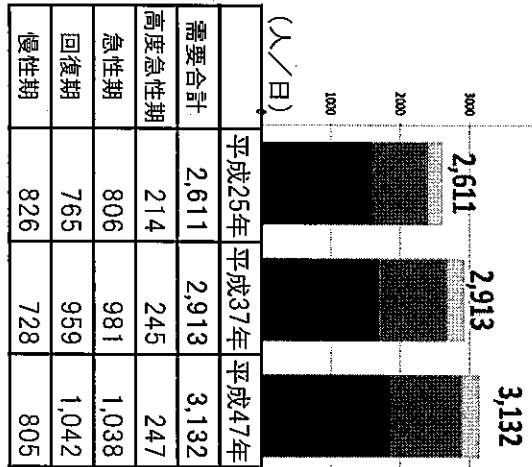
在宅医療等の
必要量の推計

年次	推計値 (人/日)
平成25年	2,849
平成37年	4,547



北部

入院患者の医療需要推計

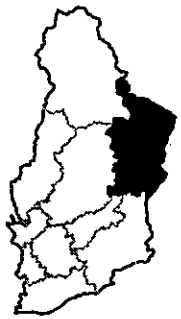


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

項目	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	3,788	3,442	346
高度急性期	410	327	83
急性期	2,155	1,258	897
回復期	238	1,066	▲828
慢性期	985	791	346
無回答	98	—	—

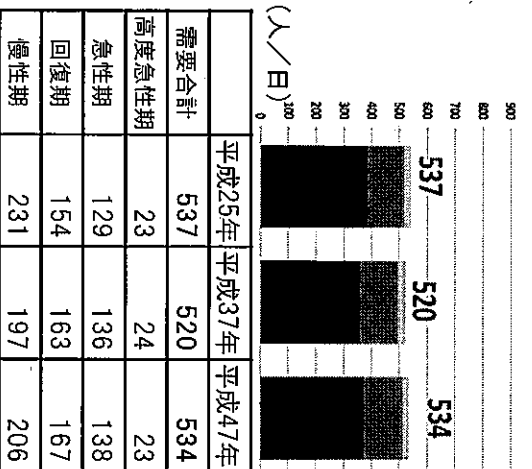
在宅医療等の
必要量の推計

年次	推計値 (人/日)
平成25年	3,771
平成37年	5,541



秩父

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と
病床機能報告による病床数の比較

項目	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	806	600	206
高度急性期	0	31	▲31
急性期	359	174	185
回復期	71	181	▲110
慢性期	376	214	162
無回答	24	—	—

在宅医療等の
必要量の推計

年次	推計値 (人/日)
平成25年	881
平成37年	1,008

